

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立宝栄小	学校	児童数	89
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.98	18.64	34.93	37.89	46.67	9.36	153.75	22.70	53.52
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.03	16.00	35.06	35.00	31.20	10.11	132.34	11.65	49.39
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- 体力合計点では、男子は全国平均を上回っているが、女子は下回っている。種目別にみると、男女ともに上体起こし、反復横跳び、20mシャトルランの種目が下回っている。
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答は、男子94.4%女子91.4%（全国：92.9%、85.7%）である。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子1.9%、女子25.7%（全国：9.0%、16.3%）また、総運動時間420分以上の児童の割合は、男子59.3%、女子22.9%（全国：50.1%、27.4%）であることより、女子の運動に慣れ親しむ時間が減少している傾向があるように見受けられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- かけあし週間やなわとび期間などを通して、意欲的に運動に取り組む児童が多い。しかし、女子児童が運動に取り組む機会が減少傾向にある。体育の学習等を通して運動の楽しさや身体の使い方を学習し、運動する機会を確保することで体力合計点の向上につなげていきたい。
- 瞬発性、持久力を高められるトレーニングを学習に組み込み、素地を養っていきたい。
- 子どもが自主的にかつ自由に運動できる時間の確保、安全な環境の整備を進めていく。